

平成26年度農林水産予算の重点事項

総額 2兆3,267億円
(2兆2,976億円)

(※) 各事項の下段()内は、平成25年度当初予算額

1 担い手への農地集積・集約化、担い手の育成等による 構造改革の推進

(1) 担い手への農地集積・集約化

- | | | |
|--|---------------------------------------|-----------------|
| ① 農地中間管理機構による集積・集約化活動【新規】 | 305億円
(-) | 【補正予算】
400億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積・集約化等を加速化するため、農地中間管理機構の事業運営、農地の出し手に対する協力の交付等を支援 | | |
| ② 農地の大区画化等の推進<公共> | (農業農村整備事業で実施)
1,064億円
(1,035億円) | 【補正予算】
450億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構による農地の借受け・貸付けとの連携等により、農地の大区画化・汎用化等を推進 | | |
| ③ 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金 | (所要額)
19億円
(19億円) | 【補正予算】
2億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> 荒廃した耕作放棄地を再生利用するための雑草・雑木除去や土づくり等の取組を支援 | | |

(2) 人・農地プランの推進、担い手対策

- | | | |
|---|----------------------------|----------------|
| ① 人・農地問題解決加速化支援事業 | 12億円
(11億円) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域における農業者の話し合いにより作成する「人・農地プラン」の継続的な見直し、普及指導員OB等を地域連携推進員として活用することによる体制の強化、農業経営の法人化等を支援 | | |
| ② 新規就農・経営継承総合支援事業 | 218億円
(239億円) | 【補正予算】
99億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> 就農前後の青年就農者・経営継承者への給付金の給付、雇用就農を促進するための農業法人での実践研修等への支援、地域農業のリーダー人材の層を厚くする農業経営者教育の強化 | | |
| | うち青年就農給付金 147億円
(175億円) | 77億円 |

2 新たな経営所得安定対策

① 畑作物の直接支払交付金 (所要額) 2, 093 億円
(2, 123 億円)

- ・ 麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ等の畑作物を生産する農業者の経営安定のための交付金の交付

② 水田活用の直接支払交付金 2, 770 億円
(2, 517 億円)

- ・ 飼料用米、麦・大豆等の戦略作物の本作化を図るとともに、産地交付金により、多収性専用品種の導入、加工用米の複数年契約、地域の特色のある魅力的な産品の産地を創造するための取組を支援

うち産地交付金
804 億円
(539 億円)

③ 水田フル活用実践緊急対策

- ・ 水田における低コスト生産のための高効率機械の導入や施設の機能向上、飼料用米を利用・保管するため機械等の導入を支援

【補正予算】
282 億円

④ 米の直接支払交付金 806 億円
(1, 613 億円)

- ・ 米を生産する農業者の経営安定のための交付金の交付 (29年産までの時限措置 (30年産から廃止))

⑤ 収入減少影響緩和対策 (所要額) 751 億円
(724 億円)

- ・ 米、麦、大豆等の収入が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補填 (加入者と国が1対3の割合で負担)

⑥ 米価変動補填交付金 (25年産) 200 億円
(84 億円)

- ・ 米の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合の差額を補填 (26年産米から廃止)

3 強い農林水産業のための基盤づくり

(1) 農林水産業の基盤整備 (競争力強化・国土強靱化)

① 農業農村整備事業<公共> 2, 689 億円
(2, 627 億円)

- ・ 農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や畑地かんがい等の整備、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進

【補正予算】
800 億円

<p>② 森林整備事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国産材の安定供給体制を構築するとともに、地球温暖化を防止するための間伐等の森林施業や路網の整備等を推進 	<p>1, 197億円 (1, 185億円)</p>	<p>【補正予算】 274億円</p>
<p>③ 治山事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震・集中豪雨等に対する山地防災力の強化のため、荒廃山地の復旧対策、津波に強い海岸防災林の整備等を推進 	<p>616億円 (611億円)</p>	<p>【補正予算】 165億円</p>
<p>④ 水産基盤整備事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 流通拠点漁港の衛生管理対策や水産資源回復対策、老朽化した漁港施設の長寿命化・耐震化対策等を推進 	<p>721億円 (721億円)</p>	<p>【補正予算】 110億円</p>
<p>⑤ 農山漁村地域整備交付金<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援 	<p>1, 122億円 (1, 128億円)</p>	

(2) 農林水産関係施設整備

<p>① 強い農業づくり交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通まで強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備等を支援 	<p>234億円 (244億円)</p>	<p>【補正予算】 111億円</p>
<p>② 森林・林業再生基盤づくり交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国産材の安定的・効率的な供給等を図るため、高性能林業機械、木材加工流通施設、木造公共建築物の整備等を支援 	<p>22億円 (16億円)</p>	
<p>③ 強い水産業づくり交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産地における水産業の強化や漁港・漁村における防災・減災対策の取組を支援 	<p>45億円 (61億円)</p>	
<p>④ 特殊自然災害対策施設緊急整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備やこれと一体的に行う用水確保対策等を支援 	<p>1億円 (1億円)</p>	<p>【補正予算】 6億円</p>

(3) 産地の構造改革の推進

- | | | |
|---|------------------------------|----------------|
| ① 次世代施設園芸導入加速化支援事業【新規】 | 20億円
(-) | 【補正予算】
30億円 |
| ・ 施設園芸の発展に向け、民間企業・実需者・研究機関・生産者等が連携し、施設の大規模な集約化によるコスト削減や周年・計画生産等の取組を支援 | | |
| ② 加工・業務用野菜生産基盤強化事業【新規】 | 10億円
(-) | 【補正予算】
10億円 |
| ・ 輸入が多い加工・業務用野菜への転換を推進する産地に対し、安定生産に必要な土壌・土層改良や関連資材の導入等を支援 | | |
| ③ 国産花きイノベーション推進事業【新規】 | (産地活性化総合対策で実施)
5億円
(-) | |
| ・ 国産シェアの奪還に向け、花き関係者の連携、日持ち性向上対策、花きの新需要の創出に向けた取組等を支援 | | |
| ④ 農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業【新規】 | 3億円
(-) | |
| ・ 農業界と経済界が連携して行う先端モデル農業の確立に向けた取組（低コスト生産技術体系、ICTを活用した効率的生産体制の確立等）を支援 | | |
| ⑤ 援農隊マッチング支援事業【新規】 | (産地活性化総合対策で実施)
1億円
(-) | |
| ・ 収穫期等の繁忙期における労働力を確保するため、普及指導員等によるシルバー人材センター・ハローワーク等と連携した援農者の斡旋や援農者への技術研修等を支援 | | |

(4) 鳥獣被害防止対策の推進

- | | | |
|--|----------------|----------------|
| ① 鳥獣被害防止総合対策交付金 | 95億円
(95億円) | 【補正予算】
30億円 |
| ・ 鳥獣被害対策実施隊の増設・体制強化、地域ぐるみで行う被害防止活動や侵入防止柵の設置、新技術の実証、捕獲技術高度化施設や処理加工施設の整備等を支援 | | |
| ② 森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業【新規】 | 2億円
(-) | |
| ・ 森林における鳥獣被害防止のための新技術の導入・実証及び実証に先立つ調査を実施 | | |

4 農林水産物・食品の高付加価値化等の推進

(1) 6次産業化の推進

- ① 農林漁業成長産業化ファンドの本格展開 【財投資金】
150億円
(350億円)
- ・ (株)農林漁業成長産業化支援機構を通じ、生産・流通・加工等の産業間が連携した取組について、資本の提供と経営支援を一体的に実施(財投資金とは別に政府保証枠として350億円を措置)
- ② 6次産業化支援対策 27億円
(36億円) 【補正予算】
20億円
- ・ 農林漁業者と多様な事業者が連携して行う新商品開発・販路開拓及び施設整備、プランナーによる事業者等に対するサポート体制の整備等を支援

(2) 多様な異業種との連携強化

- ① 医福食農連携の推進【新規】 4億円
(-)
- ・ 医学関係や食品産業等が連携して、食と健康の因果関係を科学的に調査・分析するための取組や介護食品の商品開発・普及等を支援
- ② 高収益型畜産体制構築事業【新規】 1億円
(-)
- ・ 畜産農家と畜産関係者(コントラクター、飼料・機械メーカー、実需者等)の結集による地域全体での収益力向上のための取組を支援

(3) 「強み」のある農林水産物づくり

- ① 新品種・新技術活用型産地育成支援事業【新規】 (産地活性化総合対策で実施)
7億円
(-)
- ・ 生産者、実需者、普及指導員等が連携して新品種・新技術を活用し、「強み」のある新たな産地形成を行う取組等を支援
- ② 薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業 (産地活性化総合対策で実施)
【新規】
4億円
(-)
- ・ 薬用作物等の産地形成を促進するため、栽培技術の確立等に向けた取組を支援
- ③ 知的財産の総合的活用の推進 2億円
(1億円)
- ・ 商標権や育成者権など知的財産マネジメントの普及やその能力を持った人材の育成、海外における知的財産の侵害対策等を支援

<p>④ 民間活力を活かした研究の推進【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国に配置したコーディネーターが収集した生産現場や民間のニーズに基づき、民間企業等による事業化に向けた研究及び異分野と融合した共同研究を支援 	<p>11億円 (一)</p>	<p>【補正予算】 100億円 の内数 (攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業)</p>
--	---------------------	--

5 日本食・食文化の魅力発信と輸出の促進

<p>① 日本食・食文化魅力発信プロジェクト【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外メディアの活用等により日本食・食文化の魅力を国内外に発信する取組を実施するとともに、学校給食における地域農林水産物の利用拡大等の地産地消の取組等を支援 	<p>27億円 (一)</p>	<p>【補正予算】 3億円</p>
<p>② 輸出戦略実行事業【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国別・品目別輸出戦略の効果的な実施に向け、輸出促進の取組の司令塔を設置し、オールジャパンの輸出促進施策を実施 	<p>2億円 (一)</p>	<p>【補正予算】 2億円 (輸出促進緊急対策事業)</p>
<p>③ 輸出倍増プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> プロモーターによる事業者発掘から商談支援までJETROと連携した総合的なサポート体制の強化、産地間連携による輸出促進の取組等の支援 	<p>18億円 (17億円)</p>	
<p>④ 食品産業グローバル展開インフラ整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品産業の海外展開に向けて、各国の食品の規格基準・規制等に係る情報の収集・共有化、海外の諸事情に精通した人材の確保・活用等を支援 	<p>2億円 (1億円)</p>	
<p>⑤ 輸出対応型施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物の輸出拡大に向け、輸出先国のHACCP基準等を満たすための漁港施設の整備を推進<公共> 輸出青果物の長期保存が可能な低温貯蔵施設、イスラム圏向けのハラール対応型食肉処理施設等の整備を支援 	<p>104億円 (129億円)</p> <p>(強い農業づくり交付金で実施) 優先枠30億円 (一)</p>	<p>【補正予算】 84億円</p> <p>【補正予算】 111億円</p>
<p>⑥ 輸出促進に資する動植物防疫体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸出先国からの要求に応えるため家畜の疾病の清浄化対策を支援するとともに、輸出解禁に当たり必要となる国内の病害虫情報の収集等を実施 	<p>4億円 (1億円)</p>	

6 品目別生産振興対策

- ① 畜産・酪農経営安定対策 (所要額) 1,772億円
(1,770億円)
- 畜種ごとの特性に応じて畜産・酪農経営の安定を支援し、意欲ある生産者が経営の継続・発展に取り組める環境を整備
- ② 飼料穀物備蓄対策事業 16億円
(16億円)
- 飼料穀物の供給途絶に対応するため、配合飼料の主原料である飼料穀物の備蓄を実施
- ③ 野菜価格安定対策事業 (所要額) 167億円
(160億円)
- 生産者の経営安定を図るため、野菜の価格低落時における生産者補給金の交付等を実施
- ④ 果樹・茶支援関連対策 69億円
(68億円)
- 優良品目・品種への転換を加速するための果樹・茶の改植及びこれに伴う未収益期間に対する支援、果実の計画生産・出荷や茶の生産体制の強化に対する支援
- ⑤ 甘味資源作物生産者等支援安定化対策 81億円
(72億円)
- 国内産糖と輸入糖との内外コスト差を調整し、甘味資源作物生産者等の経営安定を図るための交付金を交付

7 日本型直接支払の創設

- ① 多面的機能支払交付金【新規】 483億円
(-)
- 農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付
- ② 中山間地域等直接支払交付金 285億円
(285億円)
- 中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付
- ③ 環境保全型農業直接支援対策 26億円
(26億円)
- 化学肥料及び農薬の5割低減とセットで、地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を行う農業者等を支援

8 活力ある農山漁村の構築

(1) 農山漁村の共生・対流、都市農業の推進等

- | | | |
|---|----------------|----------------|
| ① 都市農村共生・対流総合対策交付金 | 21億円
(20億円) | |
| ・ 子どもの農山漁村宿泊体験や福祉農園の開設、空き家・廃校を活用した滞在型交流農園の整備等を進める取組や人材の活用・育成等を関係省庁と連携して支援 | | |
| ② 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 | 65億円
(62億円) | 【補正予算】
15億円 |
| ・ 農山漁村における定住・地域間交流を促進するための生産基盤、農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援 | | |
| ③ 美しい農村再生支援事業【新規】 | 10億円
(-) | |
| ・ 中山間地域等における棚田・疏水など将来に残すべき農村景観・資源を保全・復元・継承するための取組を支援 | | |
| ④ 「農」のある暮らしづくり交付金 | 6億円
(6億円) | |
| ・ 都市において、交流農園・福祉農園等の整備、新鮮な地元農産物の提供、防災農地の保全など「農」のある暮らしづくりを支援 | | |

(2) 再生可能エネルギーの導入促進

- | | | |
|---|----------------|--|
| ① 農山漁村活性化再生可能エネルギー導入等促進対策 | 11億円
(12億円) | 【補正予算】
1億円
(小水力等再生可能エネルギー導入推進事業) |
| ・ 再生可能エネルギー発電事業による収入を地域の農林漁業の発展に活用する取組や農業水利施設を活用した小水力発電等に係る調査設計等を支援 | | |
| ② 地域バイオマス産業化推進事業 | 10億円
(13億円) | |
| ・ 地域のバイオマスを活用した産業化等に必要な施設整備等を支援 | | |
| ③ 木質バイオマス産業化促進 | 5億円
(6億円) | 【補正予算】
545億円の内数
(強い林業・木材産業構築対策) |
| ・ 木質バイオマスの利用促進を図るため、全国的な調査・相談窓口の設置、実証プラントの整備等を支援 | | |

9 食の安全・消費者の信頼確保

(1) 国産農林水産物・食品の安全性向上、消費者の信頼確保

- ① 消費・安全対策交付金 20億円
(21億円)
- 国産農畜水産物の安全性向上や、家畜の疾病・農作物の病害虫の発生予防・まん延防止に関する地域の取組のほか、食品トレーサビリティの取組の普及等を支援
- ② 家畜衛生総合対策 55億円
(54億円)
- 口蹄疫や鳥インフルエンザ等の家畜の疾病に対する発生予防と万一の発生の場合のまん延防止対策を実施

(2) 国民運動としての食育等の推進

- ① 農林水産物の生産・流通の場における食育の推進 8億円
(8億円)
- 消費者に食育の実践を促す活動、食や農林水産業への理解を深めるための農林漁業体験等を支援
- ② 食品ロス削減等総合対策事業【新規】 1億円
(-)
- 商慣習の見直し等の食品ロス削減国民運動を展開するとともに、食品廃棄物のエネルギー利用等のリサイクルを推進

10 新たな木材需要の創出と強い林業づくり

- ① 地域材利活用倍増戦略プロジェクト【新規】 14億円
(-) 【補正予算】
5億円
(CLT等新製品・
新技術利用促進
事業)
545億円
の内数
(強い林業・木材
産業構築対策)
- 中高層建築に活用できるCLT(直交集成板)等新たな製品・技術の早期実用化、公共建築物等の設計、安定的・効率的な国産材供給体制の構築等を支援
- ② 森林・山村多面的機能発揮総合対策 32億円
(30億円) 【補正予算】
5億円
(森林整備地域
活動支援交付
金)
- 森林・山村の多面的機能の発揮や山村地域の活性化を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援

③ 森林・林業人材育成対策	66億円 (71億円)	【補正予算】 3億円
・ 林業への就業前の青年に対する給付金の給付や、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の育成を支援		
④ 次世代架線系林業機械開発等生産性向上事業【新規】	1億円 (-)	
・ 急傾斜地等における次世代架線系林業機械の開発等を支援		
⑤ 森林整備事業<公共> (再掲)	1,197億円 (1,185億円)	【補正予算】 274億円
⑥ 治山事業<公共> (再掲)	616億円 (611億円)	【補正予算】 165億円
⑦ 森林・林業再生基盤づくり交付金 (再掲)	22億円 (16億円)	
⑧ 森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業【新規】(再掲)	2億円 (-)	

11 強い水産業づくりのための総合対策

① 資源管理・漁業経営安定対策	390億円 (373億円)	【補正予算】 203億円 (漁業経営セーフティーネット構築事業等)
・ 資源管理に取り組む漁業者に対する共済・積立ぶらすを活用した収入安定対策、燃油高騰等に対するコスト対策を実施		
② 水産物の加工・流通促進対策	10億円 (11億円)	【補正予算】 25億円 (HACCP対応型加工・流通施設の改修)
・ 販売ニーズや産地情報等の共有化、流通過程への個別指導、流通促進のための機器の整備等を支援		
③ 漁村の活性化・多面的機能発揮対策	48億円 (48億円)	
・ 水産業・漁村の多面的機能発揮のための取組に加え、新たに漁村の課題・解決策等を示した「浜の活力再生プラン」の作成を支援		
	うち「浜の活力再生プラン」策定支援 【新規】1億円(-)	【補正予算】 2億円

④ 漁船漁業・担い手確保対策	9 億円 (1 2 億円)	【補正予算】 3 億円 (新規漁業就業者総合支援事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業への就業前の青年に対する給付金の給付、就業・定着促進等のための長期研修等を支援 ・ 高性能漁船の導入等による漁船漁業の収益性向上を支援 		【補正予算】 2 5 億円 (漁業構造改革総合対策事業)
⑤ 増養殖対策	1 4 億円 (9 億円)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 太平洋側サケの減少要因の究明に向けた調査等に加え、新たにシラスウナギの大量生産システムの実証化、陸上養殖を含む新たな養殖技術・手法を開発 	うちウナギの大量生産システム実証 【新規】 3 億円 (-) うち次世代型陸上養殖の技術開発 【新規】 1 億円 (-)	
⑥ 外国漁船の操業対策	1 4 2 億円 (1 5 8 億円)	【補正予算】 1 6 7 億円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業取締船の増隻、代船建造等による取締体制の強化 		
⑦ 水産基盤整備事業<公共> (再掲)	7 2 1 億円 (7 2 1 億円)	【補正予算】 1 1 0 億円
⑧ 強い水産業づくり交付金 (再掲)	4 5 億円 (6 1 億円)	

※ この他、諫早湾干拓開門対策経費として7 6 億円を計上